

クリスマス・ピース

Christmas Peace



The Salvation Army
www.salvationarmy.or.jp

ときのかえ
クリスマス特集号
2022

社会鍋（街頭募金）への
皆様のご協力感谢您いたします
今年も、よろしくお願ひいたします



大阪・阿倍野で



オンラインでも社会鍋
上記のQRコードで
受け付けます

第六回 救世軍社会鍋

俳句コンテスト受賞作品

今回は全国から三百五十六作品の応募がありました。左記の作品が受賞されました。(敬称略)

最優秀賞

ポーランド国境社会鍋並ぶ

神奈川県 田中 和美

優秀賞

チョコレート買ひに出掛けて社会鍋

静岡県 遠山琴々乃

社会鍋風強ければ声の張り

愛知県 水野 大雅

社会福祉部長賞

飢える子の世にある限り社会鍋

栃木県 井上 弘子

ほのぼの賞

革ジャンのポケット探る社会鍋

千葉県 梶 政幸

百年を超えて途切れぬ社会鍋

青森県 高橋 亨

無言でも心は温し社会鍋

岡山県 貞住 昌彦

佳作 野上卓、浅野まり、三宅加代子、

菅貴久代、附田敦子

救世軍公報 ときのこえ

発行日 福音版 / 毎月 1 日、広報版 / 奇数月 15 日 (除く 7 月)

定 価 福音版 / 1 部 40 円、広報版 / 1 部 100 円
クリスマス特集号 (12 月 1 日号) / 1 部 100 円

発行兼 救世軍

印刷人 代表者 スティーブン・モーリス

編集人 山谷 真

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

電 話 03-3237-0881 (代表)

M a i l jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org

発行所 救世軍本営

印刷所 ピーアンドエス

<https://www.salvationarmy.or.jp>



@SArmyJP

SArmY_JP

救世軍
The Salvation Army

救世軍への連絡をご希望の方は、以下の項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)にご連絡ください。
□近くの救世軍を紹介してください。
□キリスト教について知りたいです。
□『ときのこえ』の購読を希望します。
□相談を希望します。

救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。



クリスマス・ピース

Christmas Peace



ときのかえ クリスマス特集号 2022

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。
 ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が
 彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある
 神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。

聖書 イザヤ書9章5節

もくじ

クリスマス・メッセージ 主の降誕を喜び迎え、礼拝し、 証しよう 司令官 スティーブン・モーリス	p.2	クリスマスの祈り	p.16
		証言 大きな食卓を囲んで 生井明子さん	p.18
インタビュー 生かされている命を生きる 三木晴雄さん	p.4	女性の働き 100周年	p.19
ご案内 救世軍 on Web	p.9	ファミリーページ おはなし 森の小隊のクリスマス クリスマス・クラフト ぬりえ イエス様のお生まれ	p.20 p.22 p.23
クリスマス・メッセージ 闇の中を歩む民は、大いなる 光を見 死の陰の地に住む者 の上に、光が輝いた 第21代救世軍大將 ブライアン・ペドル	p.10	世界をみつめて	p.24
		小隊(教会にあたる)・社会福祉 施設・病院・その他施設	p.26
特別寄稿 今年のウクライナのクリスマス ダリア・ベスモルナヤ	p.12	救世軍とは?	p.28
		社会鍋	p.29

クリスマス・メッセージ

主の降誕を喜び迎え、
礼拝し、
証ししよう

スティーブン・モーリス



「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、『驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君』と唱えられる。」(イザヤ書9章5節)

日曜学校のクリスマスの劇で、マリアとヨセフが宿屋にやってくる物語をすることになりました。ヨセフの役をやりたいと思っていた少年が宿屋の主人の役をもらい、ヨセフは他の子がやることになりました。宿屋の主人の役をもらった子は、とても残念だったのですが、文句を言いませんでした。

何回も練習がありました。その子は、ヨセフ役の子に負けないようにするにはどうしたらよいか、考えていました。本番です。マリアとヨセフはステージを歩いて来ます。宿屋のドアをたたきます。「なんだい？」宿屋の主人はぶっきらぼうに尋ねます。

ヨセフが答えます。「今晚、泊まる部屋はありますか？」突然、宿屋の主人はドアを大きく開けて、言います。「ありますとも。さあ、中へお入り。一番良い部屋をお使いなさい！」クリスマス物語の筋書きとは違っていました。

小さなヨセフはまごつきます。どうしたらいいんだろう。ちょっと考え、ドアの中をのぞいて、言いました。「僕の奥さん、もっと散らかった所に泊まるつもりなんだ。マリア、家畜小屋へ行こう。」こうして、劇は本筋に戻りました。

クリスマスは、私たちの心を赤ちゃんとて生まれたキリストに向け、キリストを歓迎し、礼拝し、そのことを証しする時なのです。

今年のクリスマスを今までとは異なる、新しいやり方で祝うには、どうしたらよいでしょうか。いくつか提案してみましょう。

今年のクリスマスには、イエスを喜び迎えましょう！

イエスが生まれたとの知らせが羊飼いたちに届けられると、すぐに、彼らは待ちに待った世界の救い主を喜び迎えたいと、動き始めました。宿屋の主人は、ヨセフとマリアにふさわしい部屋を提供しなかったと言って、責められることも多いのですが、それが家畜小屋であっても、彼が二人に留まる場所を提供したことは確かです。彼は自分にできることをして、二人を迎え入れたのです。

私たちも彼がしたように、自分の心にイエスを喜び迎え入れたいものです。クリスマスは、私たちの生活の中にイエスを喜び迎え入れることの大切さを教えてくれます。イエスは私たちの生活の中に入って来られて、その愛を私たちに降り注いでくださるのです。

私たちが自分の生活の中にイエスを迎え入れると、私たちが罪から解放され、私たちの罪が赦されることをイエスが望んでおられる、とわかるようになります。そして、私たちはイエスを礼拝するように導かれます。

イエスこそ、私たちが礼拝すべきお方です。死に勝利し、死からよみがえられたのは、イエスだけだからです。イエスは死を打ち負かされましたが、それは私たちのためであったのです。このクリスマスに、私たちを愛するゆえに、私たちを罪から自由にしてくださったイエスを礼拝しましょう。

最後に、私たちがイエスを喜び迎え入れ、礼拝すると、イエスがくださる愛と恩恵のことを他の人々に伝えたいと願うようになります。神が私たちを赦してくださった、そして神は人々を赦したいと願っておられる、ということを実証することが大切です。イエスによって赦され、自由にされた私たちは、大切に思っている人々に、そのことを伝えたいと願うのです。

このクリスマスにイエスを喜び迎え入れ、礼拝し、証しする。今まで以上にイエスが共にいてくださることがわかるようになるでしょう。神が皆様を祝福してくださるようにと祈ります。神が私たちのためにしてくださったことのゆえに、神を賛美しましょう。

(救世軍士官〔伝道者〕、司令官)



Merry Christmas



インタビュー

生かされている命を 生きる

三木晴雄さん

三木晴雄さんはクリスチャン経営者として、東京・墨田区で「玉の肌石鱈」「ミヨシ石鱈」を長く経営してこられました。現在は会長として会社を見守る三木さん。その経営、生き方を支える信仰についてお話を伺いました。

—三木さんは救世軍の活動を長く応援してくださっています。

はい、救世軍には親しみがあってね。私が4、5歳の頃、母が時々、船橋の家から上野の松阪屋に買い物に行っていたんです。小さい私も連れて行って、その時に松阪屋の前で救世軍の社会鍋が出ていてね。それを母が少し離れたところからじっと見て、しばらくしたら何がしかのお金を私に渡して、社会鍋に入れてくるようにと言うので、入れましたら、救世軍の人が私の頭をなでくれたんです。今でもはっきりと覚えていますよ。それが救世軍の最初の思い出です。もう一つは、救世軍は「スープ、ソープ、サルベージョン」というのが一つのモットーだと聞いて、私は2つの石鱈会社を経営していますから、「ソープ」が入っているのが非常に親しみがあったんです。

—クリスチャンのご家庭だったのですか？

いえ、違うんですよ。私は中学1年から自由学園というキリスト教主義の学校に入りましたが、親は、教育が良いからというので選んだのだと思います。自由学園は当時、全寮制で、登校する前に寮で朝の礼拝、学校でも礼拝があって、それから授業。寮に帰ると、食事後に夕拝がありました。だから1日3回礼拝があり、必ず賛美歌を歌い、聖書を読んでいた。中学生だからよくわからないし、聖書をそんなに面白いとも思わなかったけれど、その頃の聖書は全部文語体で、文語体というのは韻を踏んで文章ができていますから、非常に覚えやすいんです。「門前の小僧、習わぬ経を読む」というか、言葉としては覚えるんですね。ですから大事なところは、みんな文語体で覚



三木晴雄さん
プロフィール

東京・墨田区に九人兄弟の七男として生まれる。千葉県船橋市で育つ。自由学園、玉川大学卒。「玉の肌石鱈株式会社」「ミヨシ石鱈株式会社」の社長を長く務め、現在は会長。音楽と読書をこよなく愛する。日本ホーリネス教団池の上キリスト教会所属。

えています。

私は体も弱くて、小さい時から心配性で、何でもかんでも最初に心配が来るんです。その時に、聖書の御言葉に「空の鳥をよく見なさい。種も時かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる」(マタイによる福音書6章26節)とあって、これがものすごく私の心に響きました。ああそうか、空の鳥ですら神様が養ってくれているんだから、何もそんな心配することないやと、最初に心に届いた印象的な言葉でした。それと忘れられないのは、2羽1アサリオンの雀さえ、神の許しがなければ地に落ちない、という箇所があるんです(マタイによる福音書10章29節)。これもびっくりしました。鳥が落ちるのも神の許しがあつてのことなのか、と非常に驚いた箇所ですね。

寮では、高校3年生から中学1年生までが6人部屋で一緒に生活でした。夏は5時半起床で、5分で身支度して。冬は寒くて零度以下になっても暖房は一切なしだったとか、そういう

意味では辛いこともありましたね。勉強は全然ついていけなくて、いろいろ変な質問をするので、もう授業からはずされて。ですから、極めて劣等生だったようです。

学生時代はそんなことです。今の会社で働くようになって、しばらくは工場勤務や営業活動などをしたんですが、30代の時に経営を全部任されました。何も教えてもらえない中で自分なりに一生懸命考え、いろいろ失敗を重ねて、それで、失敗を重ねたことから学んできました。それがやっぱり聖書にもつながるという、そういう経験がありますね。

一失敗から聖書にもつながるというのは…

そうですね、若い時はやっぱり会社を守るために、優秀な社員は残すけれど、だめな社員は辞めてもらうという考え方でいたんです。ところがある時大変な労働争議が起きて、会社がつぶれる寸前にまでなりました。それで、組合の言うことを聞かなければ、私の家内とまだ幼かった子どもを誘拐すると

か、プラットホームから突き落とすというような、命に関わるような脅しまで来て大変恐ろしい思いをしました。

悩みに悩んで、夜も眠れない状態になりましたが、その時に、「敵を愛し」なさい(マタイによる福音書5章44節)という聖書の言葉、また「右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」、「下着を取ろうとする者には、上着をも取らせなさい」(マタイによる福音書5章39、40節)という、その言葉が非常に心を突き刺してきました。その時は、そんなことできるものかという思いだったんですが、ある時、ふと、それができそうな気持ちになったんです。

これは本当に不思議です。そこに至るまでは大変な苦しみでしたが、驚かれるかもしれないけれども、ある時、私の中に聖霊が入ったんですね。そうしたら、怖いものが全くなくなったんです。そして気がついたら、泣いているんですよ、嬉し涙でね。それから、不思議なことにその時に、突然英語が喋れるようになって、周りの人もびっくりしていました。その経験が、私の信仰にとって強い意味をもっています。今でもその感覚ははっきり覚えています。聖書

にペンテコステ*のことが書かれているでしょう。そのような経験でした。まあ、一カ月くらいでその状態は解けましたが…。しかしそこからその大きな組合



の問題が、解決の方向にずーっと進みまして、それで危機を乗り切ったんです。だからやっぱり、聖書の言葉なんですね。

ーそれは大きなご経験でしたね。

ええ、私がある時思ったのは、自分で「生きている」んじゃないって、「生かされている」、「生かされている命を生きているんだ」ということです。「生かされている」というのは受け身で、自分の意思じゃないわけですよ。そうなった時に非常に心に平安がきたんです。自分の力でなんとか生きよう生きようとしているのは非常に辛いことだけれど、「生きている」のではなくて、「生かされている」んだと。

それで、うちの会社には入社試験がないんですよ。売り上げ目標や利益目標も一切ないんです、もう何十年も。なぜそういう考えになったかという、この会社の経営は自分がやっていると思うから、利益とかいろんなことに振り回されるけど、いや、この会社を成り立たせてくれているのは神様だ、という信仰に立ったとたんに、それらから解放されて、非常に平安が与えられたんです。そして、聖書の中に「十一献金」というのがありますが、会社がちゃんと健全に利益を出して、一億円の利益が出れば一千万円を社会貢献のために使う。そういうことを何十年と続けてきています。本当の会社の経営者は神様だ、イエス・キリストだ、と。こう考えると、もう心配することないですよ。別の言葉で言えば「開き直り」かもしれませんね。お任せというか。

もちろん、会社をもっと良くしたいと

*ペンテコステ：復活したイエスが天に帰られた後、イエスの弟子たちの上に聖霊(神の霊)が降った出来事。弟子たちは聖霊の力に満たされ、他国の言葉で話し出した。ここから教会が生まれ発展していった。



いう思いはもっていますし、どうしたらいいか考えますよ。今みたいにどんどん原材料費が上がって、でもあまり景気が良くないから値段は上げられない、ということになると、経営としては非常に辛いことですが、でもこれもまた御心だと考えると、ジタバタしなくて済みますよ。だから、信仰をもつというのは、そういう落ち着いた気持ち、心の平安が与えられるということで、非常に辛いことです。

社会貢献のため献金しているというのは結局、受ける喜びより与える喜びのほうが大きいということなんです。もちろん受けることも喜びだけれど、与える喜びですね。その味をしめるとね（笑）。要するに、「人の利益を奪えば、自分の利益も奪われる。与えれば、利子がついて与えられる」という簡明な真理を、会社の経営なり個人の生き方に生かしていくということ。それでそこに結果が出て、それが本当なんだと体験すると、自分にとって信仰の証しになり、さらに確信がもてるようになります。

一生き方も経営も、聖書の言葉が土台なのです。

そうですね、やはり子どもの頃に種

が蒔かれていたというか、大事な聖書の言葉が時間が経ってから思い起こされるんです。今、思うのは、やっぱり聖書を読むこと、そこから得るものは非常に大切ですね。教会に行って牧師の話聞くのと合わせて。私は今、聖書の「ヨハネの黙示録」を読んでいます。世界観というか、これからどういう時代になるのかということが見えてくるように感じます。

あとは賛美歌ですね。賛美歌というのはよく見てみると、一曲の中に起承転結があり、メッセージがあります。だから私がもし牧師になったら、賛美歌から説教するんじゃないかな。なんとか賛美歌を自分で弾きたいなと、一生懸命、自己流で勉強しましてね。家にもピアノがあり、会社にもピアノとオルガンがありますから、時間がある時は自分で弾いていますよ。

一音楽がお好きなのですね。趣味は他にも…。

そうですね、読書が好きです。私はいろんなことに好奇心があつてね。日本語の漢字は、面白いことがあるんですよ。「禁」という漢字を見ていてある時、私はパツと、「エデンの園」のことを思い出したんです。神様がエデンの園に、命の木と善悪の知識の木を植えて、知識の木の実を食べてはならないとおっしゃった。そのことがこの漢字に現れていると思ったんです。もっと調べると次々出てきましてね。例えば「聖」という字。耳、口ときたら目がありそうなものなのに、目がないですね。それで聖書を読むと、イブが知識の木の実を食べたのは「おいしそうに見えた」からだとあります。それで「聖」という字

に目がないんだと。他にもありますがね、こう考えてみると、全部じゃないけれど、漢字には聖書とつながるところがある、と驚きます。キリスト教とは関係ないと思うような、漢字の中に聖書があるじゃないかと。

歴史も好きで本をよく読んでいますが、こういう話があります。遣唐使が渡った時代に、中国で一番盛んだった宗教は景教というキリスト教の一派だった。遣唐使の人々が日本に持ち帰った書物を調べたら、漢字で書かれてはいるけれど、なんと聖書そのものだったというんです。だから日本には、思想というか哲学というか、そういう形でキリスト教は入ってきているんですね。それから、フランシスコ・ザビエルは今のマカオあたりで宣教活動をしていた時に、弥次郎という日本の青年に出会ったことをきっかけに、お忍びで長崎に渡って、半年かけて日本を歩き、その様子を全部バチカンにレポートしました。それで、「日本はキリスト教の国です、しかし、宗教ではなくて人間の生き方としてそこに根付いています」という報告をしているんですね。

また、明治の頃にトルコの船が冬に日本の沖で座礁して、それで沿岸の村人が、陸に泳ぎ着いた人たちを自分の体温で温めて凍死から救ったという、

これも感動的ですね。その村人たちがクリスチャンだったかという、そんなことはないわけです。しかし、日本人の心の中に、人生観というかな、そこにキリスト教的なものが根付いているんじゃないかなと思います。

私は、日本の長い歴史や、日本人の生き方というか、思想といったものに目を向けることはクリスチャンにとっても大切なんじゃないかと思うんです。聖書に、イエス・キリストは「信仰の創始者また完成者である」とあります（ヘブライ人への手紙12章2節）。「信仰」であって「宗教」じゃないんですよ。キリスト教を「宗教」としてはいけないと私は思います。宗教にした段階で必ずそこに争いが起きてきます。やっぱり自分の宗教が正しいと思いますから、そうでないものにどうしても排他的になるというかね。肝心なのは、「信仰」ですね。それは相手のことをよく理解していくことです。どういう悲しいこと、苦しいこと、辛いことをもっているか、それを受け入れて、そしてその心に届くような説教なり、おこないをすることです。

例えば貧しくて食べ物に困っている人にとっては、空腹を満たすことが第一でしょう。救世軍の「スープ、ソープ、サルベーション」という原点は、飢えている人、寒さに凍えている人、まずその求めに応じて、肉体的、物理的な助けを届け、そしてそれからサルベーション、靈魂の救いという、ちゃんと順序ができていくわけです。これがやはり、人を救いに導く原点なんじゃないかなと思います。

—本日はありがとうございました。



〔ご案内〕
救世軍 on Web



救世軍公式ホームページ <https://www.salvationarmy.or.jp>



救世軍公式 YouTube <https://bit.ly/SAArmyTube>

救世軍 The Salvation Army
救世軍青少年部

聖書のメッセージ、コンサート、恵みの
証言、祈りの時に最適な音声コンテンツ
などを配信しています。ぜひチャンネル登録を!



チャンネル登録、
フォロー
お願いします!

〔今後の YouTube 配信予定〕

救世軍連合聖別会



11月20日(日)に救世軍大將ブライアン・ペドルによって指揮された聖別会(礼拝)をご覧ください。

クリスマス・コンサート(オンライン配信)
12月11日(日)



救世軍ジャパン・スタッフ・バンド(英国式金管バンド)によるカロル(クリスマスの賛美歌)演奏、ゴスペルシンガー・堀井ローレンさんによるカロル賛美、クリスマスのメッセージをお届けいたします。



◆救世軍公式 SNS

Facebook : @SAArmy_JP

Instagram : @SAArmy_JP

Twitter : @SAArmy_JP

Pinterest : @sarmyjp

クリスマス・メッセージ

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

第21代救世軍大将
 ブライアン・ペドル

世界で最初のクリスマスの物語で大切な役割を果たした星のことを考えると、科学者たちは空の星を私とは違った見方で見ていることに気づかされます。例えば、地球と星の間の距離を測るために科学者たちは光年という単位を使います。1光年は光が1年かけて到達する距離で、約9兆4600億キロメートルにもなります。

私たちに最も近い恒星は太陽で、約1億4960万km離れています。太陽の光は約8分20秒かけて地球に届くので、私たちは8分以上前の太陽を見ていることとなります。次に近い恒星はケンタウルス座

にあるアルファ星ですが、約4.3光年離れていますので、今日見えるのは4.3年前の星の姿ということになります。まるで時間をさかのぼって見ているようです。

すると、マタイによる福音書2章1、2節に出てくる^{オラビクル}占星術の学者たちは、何年前の星の姿を見たことになるのでしょうか？ 神はその星を用いて学者たちをイエスのもとに導かれました。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」（マタイによる福音書2章2節）

イエスは世の光として来られました。私たちの^{やみ}闇や、この世の闇に光を照らすために来られたのです。イザヤ書9章1節にこうあります。「闇の中を歩む民は、大いなる光を見 死の陰の地に



住む者の上に、光が輝いた。」これは、イエスが生まれる何百年も前になされた預言です。

イ エスの誕生を告げた星は、いったい何光年かけて届いたのでしょうか？ しかし、むしろ私はこう考えます。聖書は、イエスがアルファでありオメガである、つまり、始まりであり終わりであると教えています。ですから、イエスは世界の始まりの時にも、降誕の時にも、今に至るまでも、最も明るい光として輝き続けておられるのです。「言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。」(ヨハネによる福音書1章14節)

イ エスは時間によって束縛されることはありません。イエスは「世の光」(ヨハネによる福音書8章12節)であり、問題だらけの世界の最も暗い場所に光を当てて、変化をもたらしてくださるのです。光は来ました！ 何光年という距離も、イエスの光から私たちを引き離すことはできません。イエスは今も生きていて、私たちを知っておられ、今日も私たちと共に生き、親しく話してくださるのです。イエスは私たちと共にいるために来てくださいました。これまで、今も、これからも、絶えず

私たちと共にいてくださるのです。

あ あなたがまだイエスを知らないなら、あなたも「世の光」であるイエスを知ることができます。その名はイエスです。イエスは変化をもたらすために世に来られました。もしあなたが変化を求めているなら、どうかイエスを求めてください。もしあなたが人生の闇を生きているなら、「世の光」であるイエスを求めてください。



す でにイエスを知っている人には、私たちもまた世の光であることを、イエスは思い起こさせてくださいます。マタイによる福音書5章14節に「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない」とあるとおりです。

今 年のクリスマス、あなたが世界の片隅で「世の光」をもたらす光となつてくださいますように。このクリスマスに、神があなたを豊かに祝福してくださいますように。

第21代救世軍大将 ブライアン・ペドル

救世軍最高指導者(万国総督)。カナダ出身。

1977年に救世軍士官(伝道者)となり、母国で奉仕後、ニュージーランド・フィジー及びトンガ軍国(当時)、英国及びアイルランド軍国で奉仕。カナダ及びバミューダ軍国司令官、万国本営(国際本部)でアメリカ及びカリブ地域担当万国書記官、参謀総長を経て、2018年8月より大将に就任、現在に至る。



特別寄稿



今年のウクライナのクリスマス

ダリア・ベスモルナヤ

ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は長期化し、先が見えない状況が続いています。日々報道されるニュースに、心を痛めておられる方々も多いのではないのでしょうか。救世軍はウクライナで1993年より活動を開始し、現在9カ所に小隊があり、モルドバ、ジョージア、ルーマニア、ブルガリアと共に東ヨーロッパ軍国を形成しています。この地域の救世軍は、ウクライナの多くの国内避難民のため、近隣諸国へ避難した人々のため、支援活動を続けています。クリスマスを迎えるにあたり、ウクライナの救世軍士官からの寄稿をお届けします。

クリスマスは、ウクライナで何世紀にもわたる伝統のある行事であり、最も美しく、最も愛されている祝日の一つです。ウクライナ人にとってクリスマスは家族の祝日ですので、この日に親戚一同が一つのテーブルに集まることはとても大切なことです。信心深くない人も喜んで集まり、各地からやって来て、愛と喜びと希望に満ちた温かく優しい家族の時間を過ごします。

ウクライナ人は2種類の^{こよみ}暦に従ってクリスマス^{れき}を祝います。一つはグレゴリオ暦のクリスマスである12月25日。もう一つはユリウス暦の

クリスマスである1月7日です。現在でも1月のクリスマスを好む人が多いようです。

ウクライナは国土が広いので、地域によって伝統が多少異なることもあります。多くの風習は異教徒の時代から続いてきたもので、少し神秘的な性格をもっています。

クリスマスの40日前から、一年のうちで最も長く厳しい^{だんじき}断食が始まります。そして、断食の最終日が聖なる^{ばんさん}晩餐、つまりクリスマス・イブ(12月24日)にあたります。

クリスマス・イブの食卓には12種類の脂肪分の少ない料理が並ぶこ



クリスマスの食卓

ディドゥックと、伝統的な
クリスマス料理クティヤ



↓ウズヴァール



とになっています。この数字の解釈には2つの説があり、一つはイエス・キリストの使徒の人数を表すとする説。もう一つは一年の月数を表すとする説です。

この日のメインディッシュは、茹でた小麦にケシの実やハチミツ、クルミ、レーズンを混ぜた「クティヤ」です。

聖夜の重要な儀式は、食卓の飾り付けです。伝統的に、テーブルの上に新鮮な干し草や藁を敷いて、その上に穀物を振りまき、テーブルの四隅には、病気や邪悪な力から家族を守ってくれると考えられているニンニクを置きます。そしてテーブルクロスで覆います。家の中で最も重要で目につく場所であるアイコン（聖画像）の下かテーブルの上に「ディドゥック」と呼ばれる麦の束を飾ります。これは、その年の最初と最後に畑で収穫されたライ麦、小麦、オート麦を束ねて作ったものです。ディドゥックは豊作と幸福の象徴であり、家族のお守りでもあります。

イエスの誕生を象徴する一番星が空に現れると、華やかな装いをした

家族全員が食卓に集まります。聖夜は伝統的に祈りで始まります。一家の主人が最初に食卓に着き、クリスマスのキャンドルを灯して夕食を祝福し、その後クティヤを味わい、家族に配ります。

クティヤの後は、魚、キノコ、ボルシチ、餃子、キャベツの煮込み、ポテト、ウズヴァール（干した果物でつくった甘い飲み物）へと食事が進んでいきます。ウクライナでは地方によって、聖夜の料理の組み合わせが若干異なりますが、その数は12種類と決まっています。

1月6日の夜からは、夕食後にカロリングをする習慣があります。カロリングは、賛美歌を歌う人たちが家々を訪ね、キリストを賛美する聖なる歌を歌い、お祝いの挨拶を述べ、その家に住む人たちの幸せと健康と繁栄を祈るという習慣です。歌が終わると、家の住人はお菓子やお金を渡します。

1月7日（あるいは12月25日）の朝、人々は「キリストが生まれた！」

クリスマスの賑わい→

↓「クリスマスの星」



2021年12月の社会鍋のようす

と挨拶し、「主をたたえよ!」と返答します。このやりとりによってクリスマスそのものが始まります。この日、人々は教会でクリスマスの祈りを献げ、その後、家族で集まります。この日、人々は断食や節食を終えてお祝いの食事をし、カロル(クリスマスの賛美歌)を歌います。

古くからあるクリスマスの独特の風習に、ネイティビティ(キリストの降誕の場面を描いたミニチュア)があります。これは、聖書に登場する人物の人形を並べて、キリストの誕生の場面を小さな舞台のように作ったものです。キリストの降誕のシーンに欠かせないのが、「クリスマスの星」です。イエスの誕生を知らせる星は、喜びのシンボルとされています。

ウクライナの救世軍では伝統的なお祝いのほかに、アドベント(4週間の待降節)の期間にクリスマスの準備を進めます。その期間は、毎週日曜の礼拝でキリストの誕生に関する聖

書のストーリーが説教壇から語られます。

戦争が始まる2022年2月24日以前は、ウクライナの人々はこのようにしてクリスマスを祝っていました。今は、休息をとることや休日についてはもちろん、人々の性質、考え、価値観、雰囲気、すべてが変わってしまいました。ウクライナの多くの都市が絶え間なく砲撃にさらされ、破壊され、サイレンが鳴り響き、「点呼」で一日が始まります。毎日、私たちを守ってくれる兵士たちの死を耳にしています。皆、誰かの父親であり、兄弟であり、夫であり、息子である人々です。数百万もの人々がすべてを失い、他の都市や国に避難することを余儀なくされています。どれほ

ど多くの、子どもを含む人々が殺され、拷問され、傷つけられていることでしょう。そして、その終わりはまだ見えていません。

今、私たちは、核兵器の攻撃からどうしたら生き延びることができるかについてニュースの報道を目にしています。毎日、多くの人が憂鬱な気分と明日への不安と闘っています。人生も夢もストップしてしまいました。唯一の願いは、悪夢のようなこの戦争が終わること、子どもたちが生きて両親に会えること、多くの負傷者、体に障害を負った人、非人道的な環境に置かれた捕虜がこれ以上増えないこと、人々が落ち着いて働き、生活を築き、子どもを育てることができるようになることです。

ですから、私たちクリスチャンにとって、イエス・キリストはこのクリスマスにおける唯一の喜びであり、希望なのです。私たちのクリスマスは心の中にあります。それは単なる祝日という以上のものがあります。ウクライナ人はどこに集まることができるでしょうか？

住む所がない場合、家族の誰かが殺されている場合、家族や親族の身に何が起こるか分からない場

合、ウクライナ人がクリスマスを中心に喜べるのかどうか？ これはとても難しい問題です。

今年の私たちの最大の課題は、戦争やあらゆる試練を背景にしながらも、キリストがお生まれになったことを忘れずに心に留めて生き抜いていくことです。

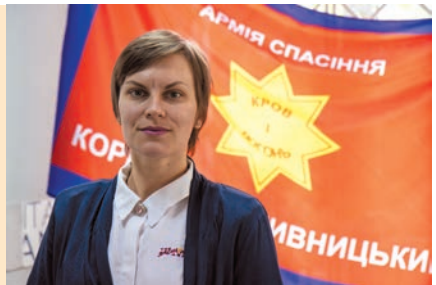
もちろん、私たちウクライナの救世軍はクリスマスの中に誰かにプレゼントを、誰かに暖かい毛布を、誰かに優しい言葉を、誰かに助けの手を差し出すために、可能な限りあらゆることをおこなうつもりでいます。神が私たちに生きることを許してくださり、キリストの誕生と、戦争の終わりとを喜び祝うようにしてくださるなら、それは実現するでしょう。



今年4月、ドニプロ駅に集まる多くの避難民に軽食や菓子を配る

筆者(ダリア・ベスモルナヤ)自己紹介

私は救世軍士官(伝道者)で、救世軍ドニプロ小隊(教会にあたる)で奉仕しています。夫も救世軍の士官です。8歳と2歳の子どもがいます。現在ドニプロ市はミサイルによる激しい攻撃を受けているため、安全上の理由からウクライナ中部のクロピヴニツキー市に移り、そこで支援活動を続けています。



クリスマスの祈り *prayer*



クリスマスの贈り物



世の光であるイエス様。あなたの誕生を祝う時、あなたがくださる光で世界を理解することができますように。この世界で最もすばらしい知らせを受け取るために、卑しい者、追放された者、貧しい者たちが選ばれたことを覚えて、私たちも謙遜な心であなたを礼拝することができますように。贈り物をする季節に、私たちよりも恵まれない兄弟姉妹を心に覚えることができますように。アーメン

カレン・L・オバースト

クリスマスの食卓



このテーブルを囲んで祈ります。今日という日を迎えられたことに感謝します。私たちの家族と友人のゆえに。天から与えられる恵みの数々のゆえに。いのちの水、いのちのパンのゆえに。神がくださる数え切れないほどの恵みのゆえに。イエス様、すべてに感謝します。大きなものから小さなものまで。うれしい時も悲しい時も。良い日も悪い日も。すべてを私たちは感謝し、喜びます。アーメン

メアリー・フェアチャイルド

クリスマスと戦争



平和ではなく不安が蔓延まんえんしている世の中であって、もう一度、良い知らせを心に響かせてください。今年のクリスマスに私たちの心にそれを実感させてください。今ほどあなたの喜びと平和を必要としている時はありません。私たちのインマヌエル、人となられた神の言葉であるイエス様を送ってくださったことを感謝します。あなたの愛は決して変わらず、色あせません。あなたが来られた目的は決して変わりません。あなたは私たちを罪から救い、永遠の命を与え、聖なる神との関係に入らせ、喜びを与えてくださいました。そうであるのに、それらを忘れていた私たちを赦ゆるしてください。あなたの誕生と死は、私たちの上に永遠の約束として刻み付けられています。アーメン

レベッカ・バーロウ・ジョーダン



クリスマスの朝と夜



愛する父よ

私たちがイエスの誕生を思い出すことができるように助けてください
天使たちと共に歌い
羊飼いたちと共に喜び
博士たちと共に礼拝できますように

憎しみの扉を閉ざし

世界に愛の扉を開かせてください
すべての贈り物に親切が伴い
すべての挨拶に善意が伴いますように
キリストがもたらす祝福によって
私たちが悪から救い出し
曇りのない心をもってクリスマスを
祝わせてください

クリスマスの祝祷



どうかあなたが、マリアの驚き、ヨセフの従順、天使の喜び、羊飼いたちの熱心さ、博士たちの決意、幼子キリストの平和で満たされますように。全能の神である父と子と聖霊が、今も永遠までも、あなたを祝福してくださいますように。アーメン

作者不詳

クリスマスの朝、私たちが
あなたの子であることを幸福に感じ
クリスマスの夜、私たちが
感謝の念を抱いて寝床に就きますように
イエスによって赦され
イエスのゆえに赦すことができますように
アーメン

ロバート・ルイス・スティーブンソン





あかし
証言 (信仰の体験談)

大きな食卓を囲んで

生井 明子さん (救世軍帯広小隊所属)



私は福島県の会津若松で、クリスマスチャンの家庭に生まれました。私が8歳の時、両親が献身し、救世軍士官(伝道者)になるために、家族で士官学校(神学校にあたる)に入りました。士官学校を出た後、両親は埼玉県にある熊谷小隊(教会にあたる)の任命を受けて、私は小学校、中学校、高校を熊谷で卒業しました。

私は幼い頃から小隊の中で育ち、神様にふれ、小隊に集う方々の信仰にふれてきました。その中で、小隊のみんなで共に食事をするのが、私にとっては印象的で、大切な時でした。小隊でみんなで大きな食卓を囲む、その空間ではいつも温かな気持ちになったことを思い出します。母がよく皆さんの食事の準備をする姿、また、家庭団(女性のための集まり)で信徒の女性たちから教わった料理を、家でもいろいろと作ってくれたこと、そんな母の影響もあって、私は小さい時から食に対する興味がありました。そして、高校卒業後は専門学校へ行き、料理の道へ進みました。

その後、両親の転任と共に私も前橋、帯広と移り、ケーキ屋、パン屋、カフェ、レストラン、焼肉店などで料理を作ることを仕事としてきました。

私の人生を振り返る時に、食に関わることをしてきたことを思います。それは、幼い時に経験した、「小隊でみんなでワイワイ大きな食卓を囲む」、それが私にとっての原風景になっているんだなと思います。

現在、帯広小隊では平日のプログラムの一つとして、パン教室があります。始まった当初、当時の小隊士官に声をかけてもらい、私も関わるようになりました。パン教室は、毎月メニューが変わり、親子が夕方から小隊に集まって、一緒にパンを作り、それをみんなで一緒に夕食に食べ、交流の時を楽しんでいます。

気がつけば、約10年間、パン教室が続いています。以前の小隊は、信徒だけが出入りをするという印象でしたが、パン教室をきっかけに次



第にいろいろな人が小隊に出入りするようになってきました。友達が友達を誘って、パン教室が、小隊に初めて気軽に来る良い入り口になっていると感じています。

今はまだなかなか、一緒に作り一緒に食べる、ということが難しい中にあります。一日も早くコロナ禍が収まり、私が幼い頃感じたように、小隊でみんなで大きな食卓を囲んで、小隊に来た方が、その中に温かな想いを感じることができ、そこに神様の愛、神様の存在を感じることができると、イエス様を中心にした、そのような場所をみんなでもつこと

ができれば、と願っています。

これまでの歩みを振り返った時に、私の人生の上に確かな神様の導きがあることを思います。幼い頃から小隊で育つ中で、また母の影響で料理に関心をもったこと、^{たまもの}賜物を与えられ、働く機会が与えられ、また今は神様にそれらを用いていただいていることを実感しています。自分ではなく、神様が私の人生の一つひとつを導いてくださっていることを感じます。これからも神様を信頼して、神様のご計画に身を任せていきたいと思ひます。ハレルヤ。



救世軍
女性の働き
1922-2022
JAPAN

女性の働き 100 周年

今年、日本の救世軍では「女性の働き 100 周年」の記念の年でした。救世軍は日本で働きの初期、^{はいしゅう}廃娼運動（^{ゆうかく}遊郭で売春をさせられていた女性たちを解放、救出する働き）を推し進め、1900（明治 33）年には、^{はいしゅう}廃娼運動で救出された女性たちを保護する「婦人救済所」を東京・築地に開所し、山室機恵子（日本人初の救世軍士官〔伝道者〕山室軍平の妻）が所長となりました。機恵子は、女性たちの自立支援のため、また、結核療養所設立のための募金などにも力を尽くしました。

1922（大正 11）年には東京の亀戸分隊（伝道所）において女性のための礼拝と交友のグループ「家庭団」が正式に発団され、多くの女性たちにとって、礼拝と良き交流、学び、奉仕の場となってきました。それから 100 年を経た現在、今も女性の立場や生き方には多くの課題があります。救世軍では、これからも様々なアイデアで女性のための働きを進めていきます。その一つとして、一昨年、女性のための新しい雑誌『はあもに』を創刊し、SNS も展開しています。



「はあもに 救世軍 女性部」



〔新刊案内〕

『この時のためにこそ』
—若きフローレンス・ブースの物語—
600 円 + 税

若くして救世軍に身を投じ、女性の働きに大きな役割を果たしたフローレンスの物語。英国での救世軍の創業期の息吹を伝える好著です。



〔おはなし〕

もり しょうたい

森の小隊のクリスマス

きゅうせいぐん 教会のしょうたい い しょうたい せかいじゅう
救世軍では、教会のことを小隊と言います。小隊は世界中
にあって、どこでもクリスマスをお祝いします！ 遠くの国
の森の中にも、小隊があるみたい…！

ウッドランドの動物たちがあつまる「森の小隊」の、クリスマススイブの集会在、もうすぐ始まります。ホールはヒイラギと赤い実とクルミのランプで美しくかざりつけられました。

高壇の真ん中には古い暖炉がすえつけられて、そこに「楽しいわが巣」と書いたプレートがかかっています。

その横には、救世軍の鳥たちの「引退ホーム」が寄贈した大きなツリーが立っています。森の宅配

屋さんは毎年、ツリーを引退ホームから

小隊まで無料で運んでくれて、クリスマスが終わると、もちろん引き取りにも来てくれます。

高壇の上にはリボンがめぐらしてあり、とてもきれいです。カエルさんとカササギさんが、天使の衣装を着けて高壇の上にすわりました。

集会が始まると、みんな声を合わせて「メリークリスマス、

アンド、ハッピーニューイヤー」と歌い、若い動物た

ちの楽隊が一生懸命に金管楽器を演奏しました。森の小隊のリーダーのワシ少佐は「イエス様のお生まれを今年もみんなでお祝いしましょう」と話

し、祝福のお祈りをしました。

それから、パジャマを着た、まだ幼い動物たちが口ウソクを手に楽隊室から出て来ました。ワシ少佐は「さあ、口ウソクをもっと近づけて、暖炉を照らして！」と言いました。若い動物たちは、お父さんから借りてきた大きな靴下を暖炉の釘につるしまし





た。そして「ねむれ、良い子よ」と「ジングルベル」を歌うと、ロウソクを吹き消して、ねむるふりをしました。



ワシ少佐が「特別なお客さまをお呼びしましょう」と言うと、楽隊の動物たちは興奮して口々に言いました。「今年のサンタクロースはキツネのフレッドのお父さんに違いない！」それから、ホールは水を打ったように静かになりました。フレッドのお父さんが出て来ました。しかし、白いひげが外れて首の後ろに回っています！ワシ少佐はすばやく手を伸ばして、白いひげは無事にお父さんの鼻の下におさまりました。

サンタクロースは、あいさつを述べると、引退ホームからバスでやって来た、年を取った鳥たちにプレゼントを手渡そうとしました。すると、なんてことでしょう、この鳥たちが高壇にわっと集まったので、フクロウ楽長とワシ少佐にぶつかり、二人は止まり木から落っこち、カエルさんの天使の羽根はくしゃくしゃになってしまいました。

この騒ぎでフレッドのお父さんの白いひげが外れてなくなりました。小隊の備品を管理しているヒキガエル氏は「白いひげを見つけた動物は、それを返してください。何かお礼をしますから！」と言いました。

それから、青年グループのみんなが衣装を着て「ウェンセスラスは良い王様」を歌いました。タヌキのバートが王様役です。楽隊員がひやかしたので、バートはとても緊張していましたが、みんなその歌を楽しみました。ツグミのサリーがカローを歌い、楽隊が「クリスマスのくつした」を演奏しました。救世軍の制服に市長のメダルを付けたフクロウ楽長が、つばさの下に指



きぼうも こうだん た
 揮棒を持って高壇に立ち、「クリスマスおめでとう！」と
 いました。それからまたみんなでカロールをいくつか歌い
 終わると、フクロウ楽長は幼い動物たちに「サンタクロー
 スのために、テーブルに必ず芋虫とドングリとショウガの
 葉っぱを飾って、それから寝るのだよ！」と言いました。

さて、ワシ少佐は楽隊の動物たちに「さあ、早くカロリング
 に出かけよう」と言いました。楽隊員たちははりきって、出発
 です。集会はおしまい。みんな「クリスマスおめでとう！」と言
 いながら、帰って行きました。サンタクロースが来る前に、み
 んな、ベッドに入らなくてははいけませんからね! ★(おわり)

出典『ウッドランド小隊』(1959年)



クリスマス・クラフト

★クリスマスツリーを作ろう!

☆用意するもの

正方形の紙(折り紙、画用紙、
 コピー用紙など)
 はさみ、のり
 かざり(シール、デコレーシ
 ョンボールなど)



これは、15cm × 15cm の
 折り紙で作りました。小
 さめの紙で作って、厚紙
 に貼って、クリスマスカー
 ドにしても!

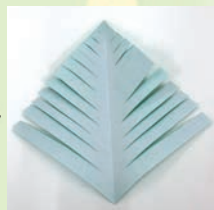
- ①紙を角と角を合わせ
 て三角に折る。



- ②開いている側からは
 さみを入れ、1センチ
 間隔で切っていく。
 *切り落とさないで、
 折り自まで1センチ
 くらいのこす。



- ③紙を開いて、両端を
 真ん中まで、折り自
 をつけないようふん
 わりたたみ、のり
 付けする。



- ④両端全部をのり付け
 したら、かざりを付
 けて完成!





ぬりえ イエス様のお生まれ

クリスマスーイエス様のお誕生をお祝いする時です！ 神様は、すべての人ととても大切に思い愛しておられるので、独り子イエス様をこの世界におくってくださいました。イエス様を信じる人はだ

れでも、罪を赦され、救われて神様と一緒に生きることができるのです。ユダヤのベツレヘムの家畜小屋で、マリアさんとヨセフさんのもとにお生まれになった、赤ちゃんイエス様。神様は、すべての人がイエス様に出会うことを待っておられます！





救世軍が活動する国と地域は5つのゾーン(地域)に分けられます。

- アフリカゾーン
- ヨーロッパゾーン
- 南アジアゾーン
- 南太平洋及び東アジアゾーン
- アメリカ及びカリブゾーン

アフリカゾーン

○ギニア

今年8月、救世軍がアフリカのギニアで公式に活動を始めたことが発表されました。救世軍が活動する国と地域の133番目の国です。活動開始のための最初の調査は2018年におこなわれ、2021年11月に正式に法人登録されました。イスラム教徒が多い国ですが、活動は急速に拡大しています。



ガーナの救世軍人

ヨーロッパゾーン

○ブルガリア

ブルガリアではウクライナ危機を受けて、学校が始まる9月初めに、ウクライナから避難してきた子どもたちへ新しいバックパックと文房具のセットをプレゼントしました。この危機の中にあって子どもたちが少しでも笑顔で過ごせるよう、支援を続けています。



○リトアニア、ジョージア

日本の皆様から救世軍にいただいたウクライナ難民支援募金の資金によって、リトアニアでの支援品提供、また、ジョージアでのウクライナ難民の子ども

○ガーナ

ガーナの救世軍は今年100周年を迎えました。8月末に記念集会が開かれ、多くの救世軍の信徒が集い、記念礼拝や女性集会、男性集会がおこなわれました。信仰を告白する多くの人が与えられ、神に感謝する時でした。



たち 100 人のためのサマーキャンプを支援しました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

○スペイン、ポルトガル

この2つの国での救世軍の働きが今年 50 周年を迎え、9月にリスボンで記念集会がおこなわれました。



左上奥に山崩れの場所が映っている

設へお届けしました。また、地元の方々へ情報をお聞きして、山深く支援物資が届きづらいという清水区和田島、中河内地区の方々へもお届けしました。被災地の速やかな復興を祈ります。

南アジアゾーン

○パキスタン

今年 6 月から続く豪雨が引き起こした洪水で甚大な被害が出た、南西部のバルチスタン州、北西部のカイバル・パクトウンクワ州などで支援をおこなっています。



南太平洋及び東アジアゾーン

○日本

静岡市清水区は台風 15 号により被災、断水の被害が出ました。救世軍では静清小隊(教会にあたる)を拠点に、9月26日、10月3日、5日と、ペットボトル水、簡易トイレ、ウェットタオル、ロングライフパン、高圧洗浄機、ドリンク剤、タオルなどを保育園や高齢者施

アメリカ及びカリブゾーン

○米国

今年の夏、異常な熱波に襲われた米国各地の救世軍では、高気温の危険性を伝えながら、休憩所を設置し、飲料水やハンディファンの配布、高齢者への訪問などをおこないました。



世界の救世軍一統計 『救世軍年鑑 2022年』より

救世軍が活動している国と地域	133
小隊(教会)と分隊(伝道所)	14,597
社会福祉の働き	
居住型施設(街頭生活者・高齢者・児童・障がい者・母子・難民等)	3,998
依存症回復施設(居住型)	199
同(その他のプログラム施設)	179
地域奉仕センター	476
デイケア施設(高齢者・ストリートチルドレン・保育・給食等)	1,811
住宅支援(高齢者・学生)	1,127
病院・診療所等医療施設	304
各種学校・幼稚園など	2,700
被災地・難民支援活動	285
救世軍兵士(信徒)・同友者	1,424,011



小隊（教会にあたる）・ 社会福祉施設・病院・その他施設

クリスマスの礼拝など、お近くの救世軍へお問い合わせください。

関東東北連隊（地区）

本部 高崎市寄合町 5-1
TEL 0283-21-5939

桐生小隊 0277-45-3117
前橋小隊 027-231-9533
高崎小隊 027-323-1337
佐野小隊 0283-21-5939
熊谷小隊 048-522-2477
長野分隊 0283-21-5939
仙台小隊 022-273-2368
若松小隊 0283-21-5939
新潟小隊 025-229-2003
浪江小隊 0283-21-5939
(震災被害のため現在休止中)

西日本連隊（地区）

本部 大阪市北区天神橋
3-6-20
TEL 06-6351-0084

京都小隊 075-343-3726
天満小隊 06-6358-6679
泉尾小隊 06-6551-9187
西成小隊 06-6661-3590
神戸小隊 078-341-4594
岡山小隊 086-227-9029
福山小隊 084-926-3151
広島小隊 082-262-3776
呉小隊 0823-25-4794
高松小隊 087-851-0752
高知小隊 088-822-0365
八幡小隊 093-652-1584
福岡小隊 092-531-7418
鶴橋分隊、塚本分隊、
丹後分隊、大牟田分隊、
大津分隊

北海道連隊（地区）

本部 札幌市北区北 22 条西 5 丁目 1-5
TEL 011-788-5352

札幌小隊 011-788-5352 釧路分隊 0155-23-4877
函館小隊 011-788-5352 帯広小隊 0155-23-4877
遠軽小隊 0158-42-3409

東京東海道連隊（地区）

本部 東京都墨田区太平 4-11-3
TEL 03-6261-5701

上野小隊 03-3873-5386 杉並小隊 03-6256-8191
または 03-6261-5701 月島小隊 03-5860-2994
大森小隊 03-6272-9771 西新井小隊 03-3889-3894
川口小隊 03-6261-5701 横浜小隊 045-714-6060
神田小隊 03-3263-0848 横須賀分隊 045-714-6060
京橋小隊 03-3551-0337 静清小隊 054-365-8270
清瀬小隊 042-491-7600 浜松小隊 053-452-6717
江東小隊 03-6261-5702 名古屋小隊 052-935-7875
渋谷小隊 03-6261-2447

救世軍士官学校

〒166-0012
東京都杉並区和田1-40-17
TEL 03-6256-8262

救世軍士官（伝道者）を養成する
学校です。（全寮制・2年間）

山室軍平記念救世軍資料館

〒166-0012 東京都杉並区和田2-21-39
TEL 03-6256-8194

日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館（10時～16時）しています。
（ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします。）



- 札幌市しせいかん保育園
011-204-9560
- 桑園保育所 北海道札幌市
011-221-6630
- 菊水上町保育園 北海道札幌市
011-821-2879
- 佐野保育園 栃木県佐野市
0283-22-4081
(併設：学童保育「佐野こどもクラブ」)
- 呉保育所 広島県呉市
0823-21-4711

- 児童養護施設・機恵子寮 東京都
- 児童養護施設・世光寮 東京都
- 児童養護施設・希望館 大阪府
- 児童養護施設・愛光園 広島県
(併設：児童家庭支援センター「明日葉」)
- 児童養護施設・豊浜学寮 広島県
- 婦人保護施設・婦人寮
- 婦人保護施設・新生寮

アルコール依存症者支援施設

- 自省館(救護施設)
東京都清瀬市 042-493-5374
男子社会奉仕センター
東京都杉並区 03-5860-2992
男子宿泊施設・新光館 東京都

救世軍バザー場 東京都杉並区
中野富士見町(東京メトロ丸の内線)
より徒歩10分

江東出張所 東京都墨田区
錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)
より徒歩10分

○営業時間や寄贈品受付等のお問い合わせは両施設とも
03-5860-2992 まで

救世軍ブース記念病院

〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-5
TEL 03-3381-7236 (代)
<https://boothhp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、消化器内科(内視鏡)、循環器内科、神経内科、精神科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、ホスピス外来、漢方内科、各種健康診断、199床(療養病棟147床、地域包括ケア病棟32床、緩和ケア病棟<ホスピス>20床)

入院随時

(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

●老人保健施設

ブース記念老人保健施設グレイス
東京都杉並区 03-3380-1248

(併設：ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)

●特別養護老人ホーム 恵みの家(ユニットケア型)

東京都杉並区 03-3381-7243

救世軍清瀬病院

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘1-17-9
TEL 042-491-1411(代)
<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、142床(療養病棟117床〔うち介護療養型43床〕、緩和ケア病棟<ホスピス>25床)

入院随時

(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

●特別養護老人ホーム 恵泉ホーム

東京都清瀬市 042-493-5161

●ケアハウス いずみ(恵泉ホーム併設)

042-496-7575

(併設：ホームヘルパーステーションいずみ)



※●は、社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設。
その他は、宗教法人 救世軍の施設

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策中のため、最新情報につきましては、各施設へお問い合わせいただくか、救世軍本営公式ホームページ及び各施設の公式ホームページをご確認ください。よろしくお願いいたします。



救世軍とは？ What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界133の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、家の

ない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたちに



助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えました。やがて、これらの働きを効率よく進めるため、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army (救いの軍隊・邦訳は救世軍)」と名づけました。制服・制帽も制定され、信徒は禁酒をし、アルコール依存症に苦しむ人々の回復支援にも積極的に力を注ぎました。

救世軍は、世界の各地で人々のニーズに応え、様々な社会福祉施設、病院、学校などをつくりました。また、国際的な協力体制のもと、災害被災者支援や内戦などによる難民の支援、開発途上国における教育・医療・農業指導などの自立支援をおこなっています。

コロナ禍にあっても、世界各地で、様々な支援をおこなっています。

2022年2月にロシアによるウクライナへの軍事侵襲が始まってから、この危機で大きな影響を受けている人々への支援を続けています。ウクライナ

と周辺諸国、またヨーロッパ各地で、避難している人々へ、食料品や物資支援とともに精神的、霊的なケアをおこなっています。



ウクライナから避難してきた子どもたちへの支援のようす(ポーランド)

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道拠点の小隊(教会にあたる)を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代に先駆けて様々な働きを興してきました。

日本人で最初に救世軍士官(伝道者)となったのは、山室軍平です。山室は、だれにでもわかりやすい説教と著書で、一般大衆にキリスト教を広めました。

現在は、小隊と分隊(伝道所にあたる)、2つの病院(ホスピス併設)、各地の社会福祉施設を通して、働きを進めています。(26、27ページに一覧掲載)



救世軍では、ブラスバンド(英国式金管バンド)を用いて礼拝や伝道をおこなってきました。近年は、多様なスタイルの音楽が用いられています。



社会鍋

11月30日は社会鍋の日

三脚に吊るされた鍋。救世軍の制服・制帽に赤と白のたすきを身に着けた人々が募金への協力を呼びかける声。「社会鍋」は、今から113年前に始められました。日露戦争直後、戦地から帰還した多くの人々が職につけず街にあふれました。救世軍は、1906（明治39）年初頭から、労働紹介所、簡易食堂、木賃宿などの働きを始め、年末には、正月準備もできない境遇に



慰問かご

ある人々のために、餅やみかん、足袋などを詰め合わせた「慰問かご」を届ける運動を始めました。やがて、1909（明治42）年、「慰問かご」の中身を整えるための募金をする方法に切り替え、当時米国でおこなわれていた募金方法「クリスマス・ケトル（スープをぶら下げるスタイル）」をアレンジし、当時日本で一般的だった

鉄鍋をぶら下げました。

この募金鍋はいつしか「慈善鍋」と呼ばれ、多くの人々から協力を得られるようになりました。1921（大正10）年、その名前を「社会鍋」と改称。支援活動も全国に広がって、「社会鍋」は俳句の冬の季語になるほど人々に知られるようになりました。

託された資金は、現在、街頭生活者支援、高齢者・母子家庭、病院や障がい者施設への支援、更生保護、女性・児童保護、人事相談、国内外の緊急災害被災者への支援などに活用させていただいています。街頭での募金は、全国各地で12月よりおこなわれる予定です。どうぞ、今年もご協力をお願いいたします。



冬期給食活動がおこなわれています（横浜小隊）

第7回救世軍社会鍋俳句コンテスト 12月1日(木)募集スタート

募集内容：社会鍋を題材にした未発表作品

提出物：一人2句まで

応募方法：●応募用紙（下記主催者へご請求ください）を郵便あるいはファックスで送付
●救世軍ホームページ「応募フォーム」に入力 ペンネーム不可

締め切り：2023年3月31日（金）（消印有効）※応募資格も費用もありません

賞：優秀賞1句、特別賞2句、ほのぼの賞3句 他

結果発表：『ときのこえ』6月1日号紙上、公式ホームページ

選者：唐澤南海子（現代俳句協会会員・「岳」無鑑査同人・第27回俳壇賞受賞・日本基督教団・信濃町教会員）

著作権：応募作品の著作権は救世軍に帰属

主催：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

救世軍本営「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係

TEL 03-3237-0881 FAX 03-3237-3588



「闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」
(聖書 イザヤ書9章1節)